


Title	京都大学のオープンアクセス推進の取り組み<平成28年度 国立大学図書館協会地区助成事業近畿地区協会講演会「 オープンサイエンス推進状況下での大学図書館の役割を 考える - オープンアクセスの推進と研究者IDの動向 - 」 >
Author(s)	富岡, 達治
Citation	(2016): 1-22
Issue Date	2016-10-21
URL	http://hdl.handle.net/2433/217340
Right	
Type	Presentation
Textversion	publisher



京都大学の オープンアクセス推進の 取り組み

国立大学図書館協会近畿地区協会講演会

オープンサイエンス推進状況下での大学図書館の役割を考える
ーオープンアクセスの推進と研究者IDの動向ー

2016年10月21日



京都大学附属図書館 富岡 達治

tomioka.tatsuji.5a@kyoto-u.ac.jp

目次

- 京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」
- オープンアクセス方針
(採択 ～ 実装 ～ 現在)
- オープンアクセス推進事業

京都大学 学術情報リポジトリ

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

京都大学 | 図書館機構

Search Custom Search

ホーム

ブラウズ

研究科等一覧

タイトル

著者

日付

アクセスランキング

アクセス統計

京都大学発行
電子ジャーナル

京都大学
学位論文

KURENAI
Update!

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学図書館機構

Kyoto University Research Information Repository >

京都大学リポジトリ (KURENAI) では、オープンアクセスを推進するプラットフォームとして、京都大学日々創造される研究・教育成果(学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など)をインターネット上で公開しています。

2016年3月末現在 ●収録論文 14万1千件 ●紀要 約200誌 ●論文ダウンロード 391万件以上(2015年度)

リポジトリ登録システムの試
行について (2016/03/24)

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAIで公開している博
士学位論文にDOIを付与し
ます (2015/12/22)

「京都大学オープンアクセス
方針」を採択しました!
(2015/05/07)

学術情報リポジトリ
KURENAIのアイテム詳細画
面・著者名から、京都大学教
育研究活動データベースの
研究者情報を参照できるリン
クが表示されるようになりました (2015/03/05)

研究科等一覧

下記のリンクより学位論文および研究科等で発行する学術雑誌や紀要にアクセスできます。

001 総長

002 学位論文

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

Japanese | English

検索

KURENAI update!
KURENAI update!
KURENAI update!
KURENAI update!

京都大学 Kyoto University
オープンアクセス方針
Open Access Policy

科研費 科研費
KAKENHI 論文の
オープンアクセス化
を進めましょう KURENAI 紅

登録手順 [学内の方へ 研究・
教育成果を登録する]

リポジトリ
登録
システム
KURENAI Deposit System

▼学術情報リポジトリ
KURENAIに登録するための
著作権

▼KURENAIによるセルフ
アーカイブ

▼オープンアクセスとは

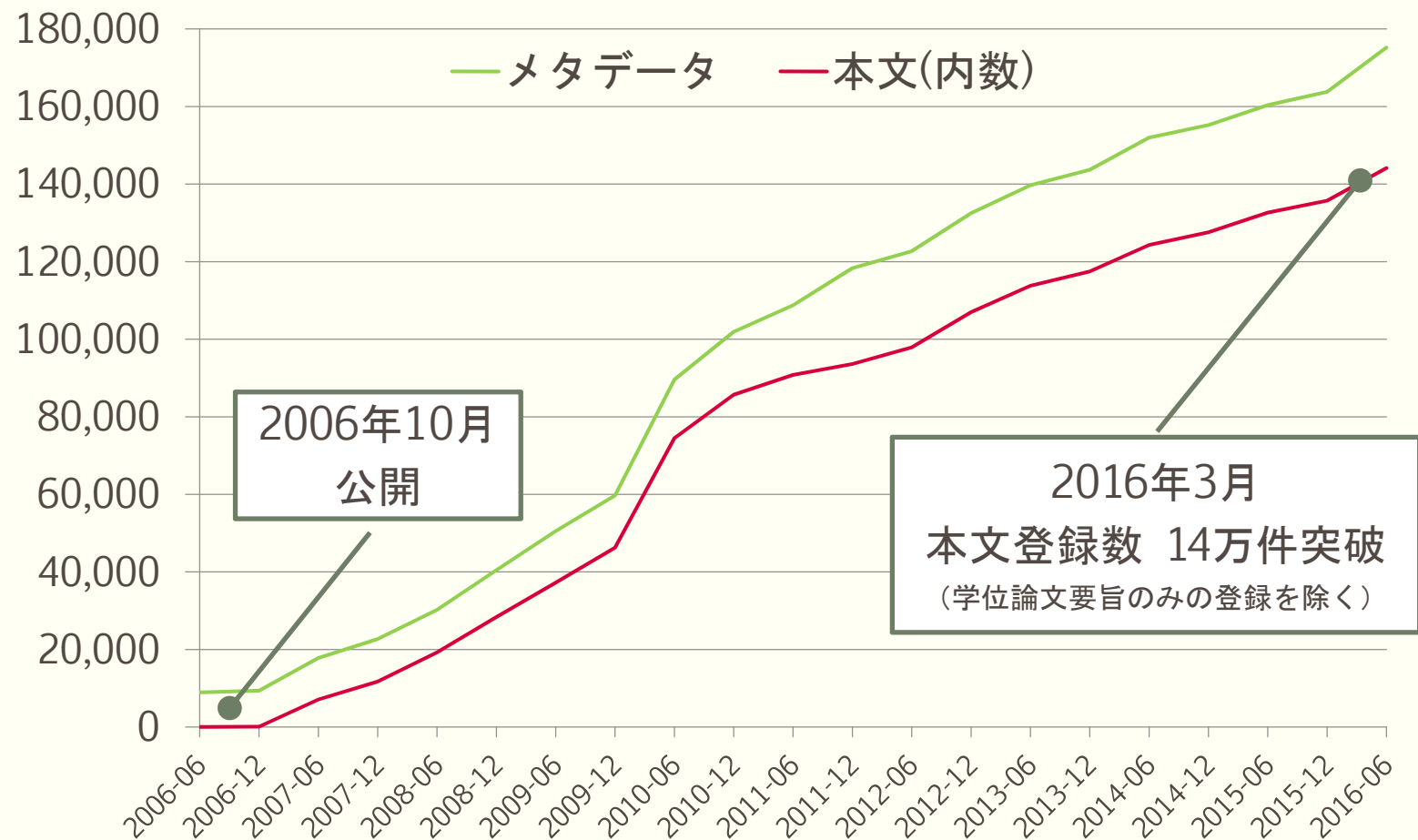
山中伸弥教授
ノーベル生理学・医学賞
Key publication

益川名譽教授
ノーベル物理学賞
受賞論文

KURENAI – 概要

- Kyoto University REpository for Navigating Academic Information
- 2006年10月公開
 - NIIのCSI事業「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」に採択

KURENAI – コンテンツ登録数



KURENAI – ランキング

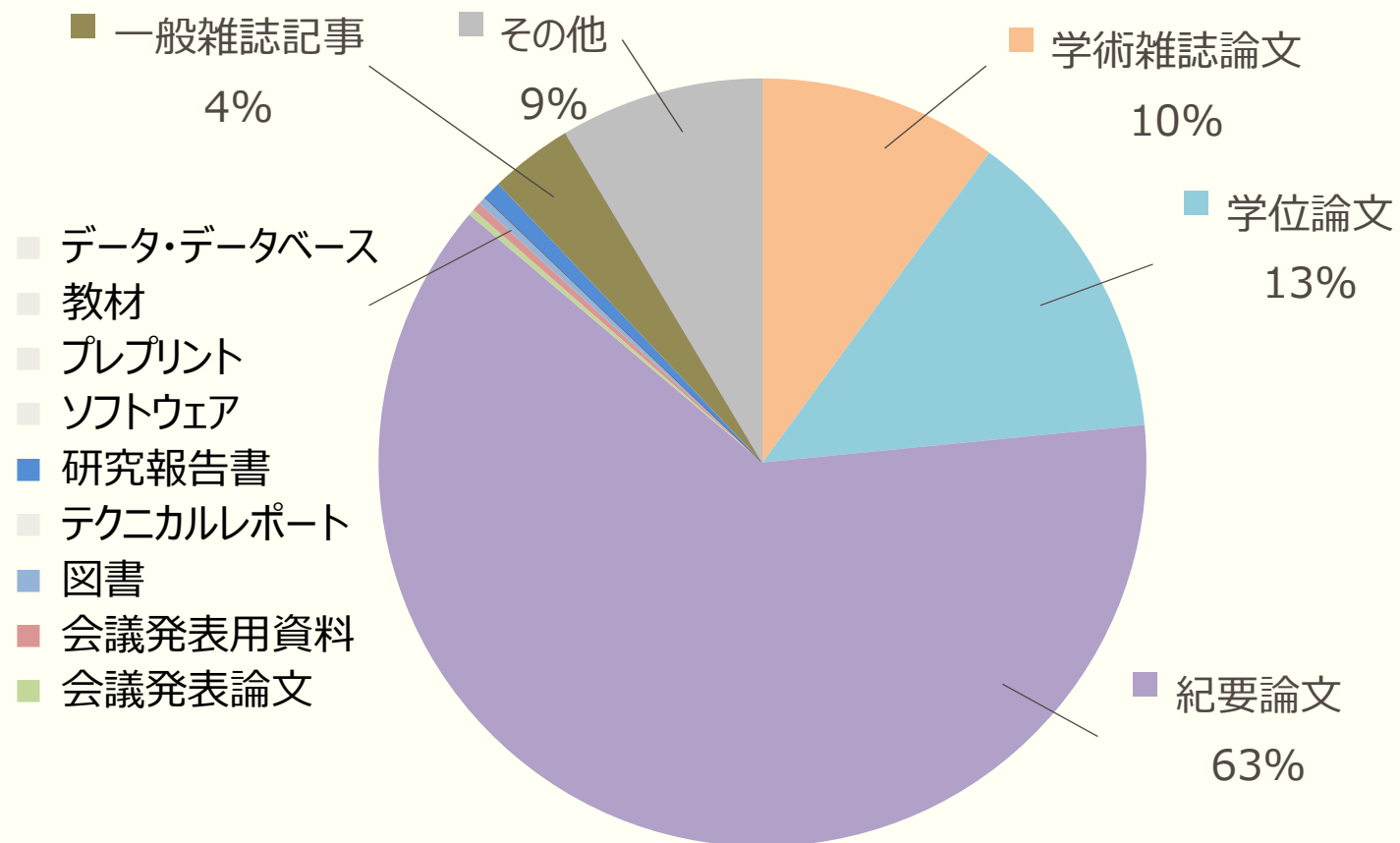
■Ranking Web of Repositories

<http://repositories.webometrics.info/en>

- スペイン高等科学研究院（Consejo Superior de investigaciones científicas）による世界リポジトリランキング（2016年7月版）

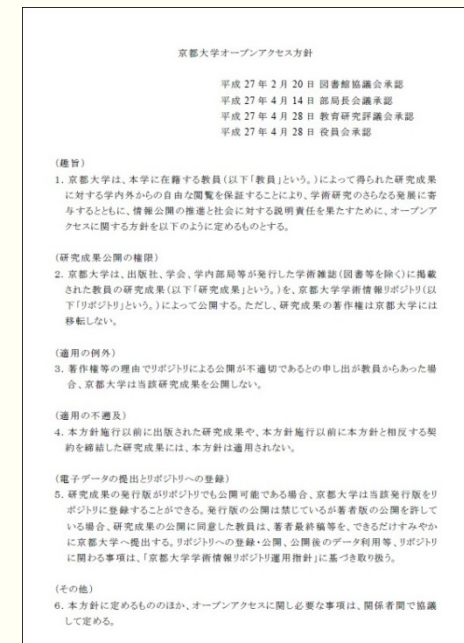
区分	順位
World	41
Top Institutionals	32
Asia	1
Japan	1

KURENAI – 収録コンテンツ



京都大学オープンアクセス方針

京都大学の教員が生み出した
学術論文等の研究成果を
「京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI」によりインターネット上で
原則公開することを定めたもの

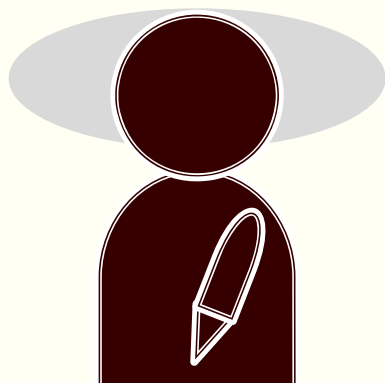


京都大学オープンアクセス方針

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13092>

方針が定めること

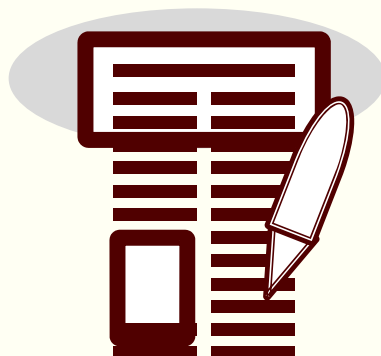
本学に在籍する
教員は



常勤の

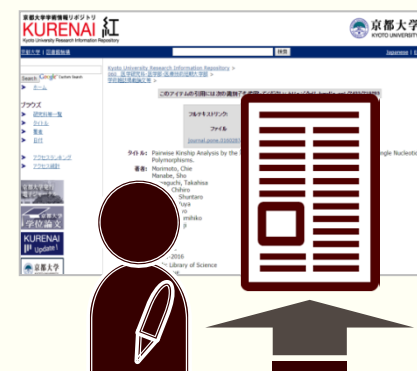
- 教授
- 准教授
- 講師
- 助教(有期/無期間わす)

研究成果を



- 学術雑誌に
掲載された論文
- 2015年4月28日以降
に出版されたもの
(それ以前のは登録任意)

KURENAIに
登録する



- リポジトリ登録システムで
論文ファイルを登録申請
- 登録が可能な版や
公開可能時期などは
附属図書館で調査の上
論文を公開

方針採択まで - 道のり

- 2014年3月: 海外調査 (北米・EJ & OA)
 - 大学としてOAポリシーを持つことの重要性を認識
- 2014年5月~: OAポリシー検討プロジェクト立ち上げ
 - 図書館職員による検討・調査
- 2014年6月~: 図書館機構として検討
 - 学術情報リポジトリ特別委員会 → 図書館協議会承認 (2015年2月)
- 2015年3月~: 大学全体での検討
 - 部局長会議承認 (4月14日) → 教育研究評議会承認 (4月28日)
→ **役員会承認 (4月28日)**

(参考) 京都大学オープンアクセス方針採択の経緯. カレントアウェアネス-E1686. 2015-07-09.
<http://current.ndl.go.jp/e1686>

方針採択後 – 実装に向けて

- マニュアル等の整備
 - オープンアクセス方針実施要領
 - FAQの整備
- システムによる支援
 - リポジトリ登録システムの開発
 - 教育研究活動DBとの連携
- 説明会の開催
 - OA方針・リポジトリ登録システムの周知

リポジトリ登録システム – 機能

- 教員自らメタデータと本文ファイルを登録
 - KURENAI (DSpace) とは別システムを構築
 - 登録状態（共著含む）の管理
 - 「適用例外」処理
 - 代理入力
- データ連携
 - 教育研究活動DBと連携
 - 個人IDを元に researchmap、Scopusから登録対象論文の書誌データを自動収集

リポジトリ登録システム – 画面

論文登録システム(KURENAI Deposit System)

京大太郎 さんの代行中(By proxy for Dr. Taro, Kyodai)

代行(Manage data by proxy)

代理入力者登録・削除(Allow others to manage your data.)

Logout

京大太郎

新規登録(new)

未登録 - Unregistered

依頼日時 Request	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	状態 Status	
	10.1241/johokanni.58.8	研究資金獲得支援における情報の収集・提供・分析	情報管理		京大 太郎, 京大 花子	処理中(In progress)	申請 (Apply)
		Test Data With Subscript H₂O and Superscript Cl			京大 太郎	処理中(In progress)	申請 (Apply)
2016/03/10 13:57	10.1109/IIAI-AAI.2015.16	Researcher Grant Need	In Proceedings of 4th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2015), Okayama, Japan		Taro, Kyodai, Ichiro Yamamoto	処理中(In progress)	詳細 (Detail)

共著者処理中 - In Process (Co-author)

依頼教員 Author in charge	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	
--------------------------	------------	---------------	-------------------	------------------	--------------	--

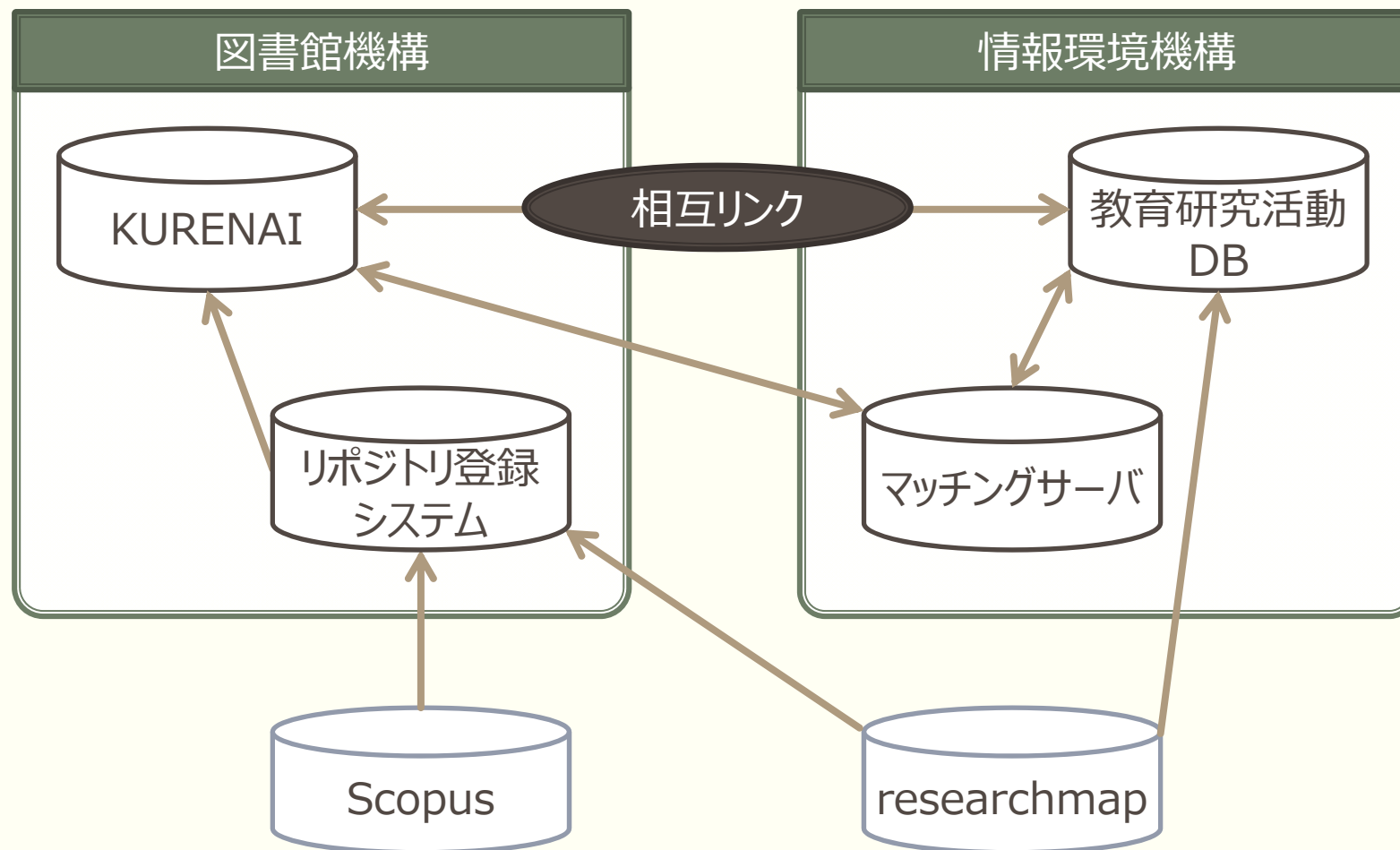
図書館代行中 - In Process (Library)

DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	
------------	---------------	-------------------	------------------	--------------	--

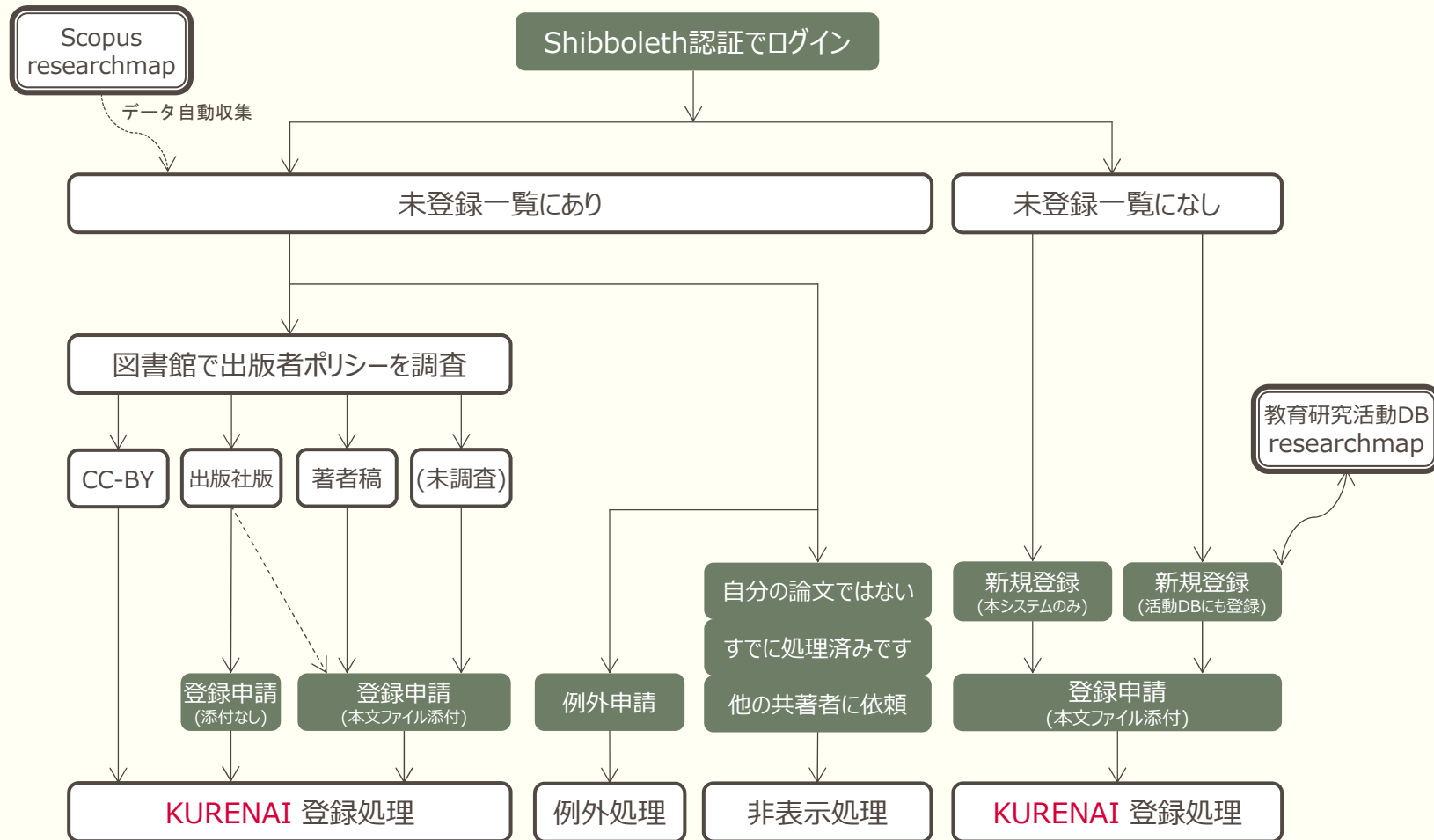
完了済 - Registered in KURENAI

依頼教員 Author in charge	KURENAIハンドルのURL	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	
京大 太郎	適用例外 出版社の許諾を得られませんでした。		test2			京大 太郎	詳細 (Detail)

リポジトリ登録システム – 連携



リポジトリ登録システム – フロー



説明会 - 現在進行中

**オープン
アクセス
方針
説明会**

京都大学学術情報リポジトリ **KURENAI** 紅
Kyoto University Research Information Repository

京都大学は、2015年4月28日に「京都大学オープンアクセス方針」を採択しました。
この「京都大学オープンアクセス方針」の理念のほか、KURENAIへの登録手順、リポジトリ登録システムについて、説明会を開催します。

プログラム

- 1 「京都大学オープンアクセス方針」について
- 2 KURENAIについて
- 3 リポジトリ登録システムについて
- 4 質疑応答

【日時】平成28年 **6月22日(水)** 11:00 - 11:50
6月29日(水) 13:30 - 14:20
*同内容を2回開催します。

【会場】附属図書館3Fライブラリーホール
【対象】本学教職員 **(申込不要)**
【主催】京都大学図書館機構
お問い合わせ先：附属図書館学術支援課学術支援班
E-mail: repository@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-753-2618

ポスター（附属図書館開催）

京都大学図書館機構 オープンアクセス方針説明会 2016 医学部キャンパス

**京大
オープンアクセス
方針**

30分で納得！

これだけは押さえない
京大オープンアクセス方針
の常識

① KURENAI 登録：事務編 ② 30分

- ☒ 「京都大学オープンアクセス方針」で何が変わりますか？
- ☒ 「KURENAI」で論文を公開するには何をすればよいのですか？

② 京大オープンアクセス方針：Q&A 編 ③ 30分

- ☒ オープンアクセス誌に投稿することと KURENAI に登録することはどう違うんですか？
- ☒ オープンアクセス費を支払わずに論文を公開する方法はありますか？
- ☒ あなたの疑問を解消します。お気軽にお越しください。

2016年 **9月9日(金)** 京大医学部構内 基礎医学記念講堂

① 16:30~17:00 KURENAI 登録：事務編
② 17:00~17:30 京大オープンアクセス方針：Q&A 編

開会先 京都大学医学図書館 075-753-4323
medlib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

予約不要

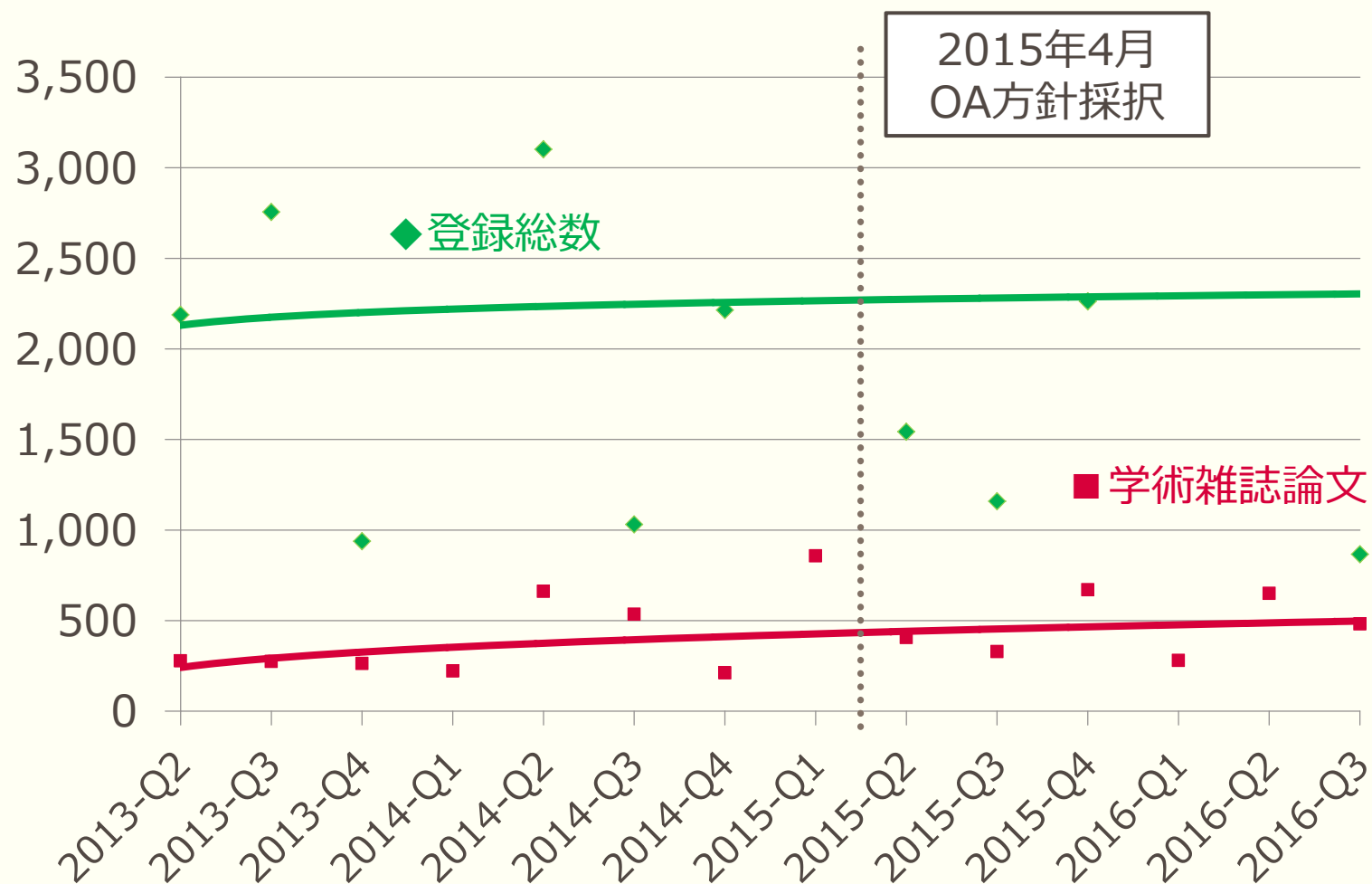
詳しくは Web サイトへ

ポスター（医学図書館開催）

説明会 – 質疑応答などから

- OA方針の認知度不十分
 - さらなる周知が必要
- 著作権への懸念・著者稿に対する不安
 - 図書館職員の支援期待
- システム連携の必要性
 - 入力作業の省力化
 - リポジトリの登録効果アピール、動機づけ

登録数の推移



オープンアクセス推進事業

- 京都大学の改革と将来構想
(WINDOW構想)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/window/>

- 京都大学重点戦略アクションプラン
 - WINDOW構想実現のため、
第3期（2016-2021）に取り組む事業群



「オープンアクセス推進事業」採択

オープンアクセス推進事業

1. 学術論文等の研究成果公開の推進と世界的展開
2. 貴重資料等の一次資料の電子化と公開
3. 国内外の調査を踏まえたオープンアクセスや研究データに関する研究
4. データキュレーターとしての図書館職員の育成
5. オープンアクセスや研究公正に関する情報リテラシー教育活動

取り組み事業例

- リポジトリ登録促進
- メタデータの充実・可視性の向上
- IIIFへの参画
 - デジタル画像相互運用のための国際的なコンソーシアム
(International Image Interoperability Framework)
 - 参加への関心表明（2016年5月30日）

まとめ – 今後の課題

- オープンアクセスの理解促進
(研究者・学生)
- オープンアクセス支援の意識向上
(図書館職員)
- 関係組織（URA室、システム部門）との
協働・連携
- 人材養成（データキュレーター等）